



# りんご箱

ケアセンター成瀬住民の会だより 第121号

2019年（令和元年）5月 発行：住民の会広報委員会 電話：729-0617 発行責任者 佐藤 康夫

## 新年度のスタートにあたって

ケアセンター成瀬 住民の会

会長 佐藤 康夫

「令和」が5月1日よりスタートしました。

「美しい風土と限りない心温まる感謝や一人一人の価値を尊重して、尊厳の気持ちで世界平和を訴えたい」と、新元号「令和」の考案者とされる国文学者の中西進さんが記者会見で語っておられました。中西先生は万葉集の研究の第一人者と言われています。

平成5年に地域住民による住民のための高齢社会のコミュニケーションの場「ケアセンター成瀬」を支援する目的で設立された「ケアセンター成瀬住民の会」も本年で26年目を迎えました。

まさしく「平成」の時代を通じ、皆さまのご協力とご支援によりさまざまな困難を乗り越えてまいりました。

新たな時代「令和」でも「ケアセンター成瀬」を支援しつつ、当会の抱える高齢社会の諸問題を自治会をはじめ様々な活動をされているグループの方々と一緒に展開させていこう、と心を新たにいたしました。

さて、私は4月21日の通常総会で再選され、3期目の後半も会長の任に就かせていただくことになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

総会の詳細な議事は本紙2ページ目で報告いたしますが、主な重要課題について少し述べたいと思います。当会の諸活動を実践していくために不可欠なのは、かねてから会員の皆さまにお願いをしております「会員の拡大」です。

当会は町田市のボランティア連絡協議会に加盟しておりますが、高齢化のため組織の維持が困難となるところが多く加盟団体の減少が顕著になってきております。当会はお蔭様で毎年20数名の新規会員を迎えていますが、様々な理由による自然減を防ぐ手立てはなかなかありませんので、ご友人、お知り合いの方々に入会を働きかけて下さると有難いです。

次に、さきに述べましたように、当地域では様々な団体の方々が高齢者の生きがいを支援する活動をされていますが、高齢者を支えるための「暮らしの安心セミナー」が町田市南圏地域ケア会議の主催で1月に行われ、私も出席してまいりました。その中では、高齢者、特に認知症の人を支えるための地域づくりを考える会議で、地域の医療機関、金融機関、ボランティア

ア団体が協力し合って情報を密にし安心して暮らせる地域づくりをしたいと思います。当会も新たな年「令和」の始まりにあたり、行事計画も総会議案書の通り盛り沢山用意しておりますが、最も重要なことは会員の皆さまの健康と安全です。各行事は広報のチラシ等でお知らせしてまいります。

本年度も会員の皆さまが元気で各行事に参加され会員相互の親睦と支え合いを重ねて下さいますよう、ご協力とご支援をよろしくお願ひいたします。



事務局が整理整頓され、見違えるように明るく使いやすくなりました！

# 第26回通常総会

島峯 紀子

ケアセンターの中庭が新緑にもえ、初夏を思わせる4月21日の日曜日、住民の会第26回総会が42名の出席で開催されました。

永井まちさんのいつもの名司会で定刻に開会しました。佐藤会長より、ご出席頂いた皆様に謝意が述べられ、町内会、他の団体との連携の大切さ、孤独の無い地域を望むという強い話があり、会員のさらなるご理解、ご協力をお願いしますと挨拶がありました。



続いて来賓の創和会西嶋理事長より日頃の創和会への協力に感謝の言葉がありました。高齢化率の高い当地域で安心して暮らせるま



ちづくりへの抱負を話されました。

NPO 高綱副理事長より、NPOの成り立ちの話がありました。ボランティア精神を重んじつつ、創和会利用者様への毎日の食事作り、グループホーム「まどか」への食事作りなど活動に励んでいます。最後にNPOから住民の会へのお礼の言葉がありました。

司会者より「我こそは議長に、書記にと思われる方」の問いかけに「一任」の声で、議長に原口秀夫さん、永尾陽子さん、書記に佐々木忠雄さん、山垣淑子さんが選出され議事審議に入りました。



第1号議案活動報告は小竹事務局長よりありました。昨年6月「日本生命財団」より顕彰金を頂いたことは、当会の活動が認められたということですが、と輝かしい報告がありました。さらに平成を振り返り、当会の発足より30年間の経過を皆と共に思い出し、今後更に活動を発展させる事が課題ですと話されました。



西山会計担当より会計報告があり、続いて小林、野中監事より「適正」との監査報告がありました。



今年度は役員改選が無い為、各役員の紹介があり、会長が決意を新たに一年頑張りますと話されました。今年度活動計画は会長より説明があり、市内各種団体では会員の高齢化により解散

を余儀なくされたところもある中で、当会は今年度も皆さんの協力で活動を進められることは喜ばしいことと話されました。

引き続き予算案については備品費の増額に關し説明がありました。事務所内に、耐震、整美のための備品を購入。パソコンの買い替え等々の細かい補足説明があり、活動計画と共に全て承認され終了しました。



議長、書記の皆さんにお疲れさまの拍手で解任。出席されていた創和会川尻施設長の創和会の現状の話があり、日頃の住民の会への感謝の言葉がありました。安達副会長の閉会の辞。ボランティアとは自ら進んで行うもの、活動は細く、長く無理をしない精神で行うことが大切です。それにはご自身も他から見ても辛い、大変と思わない、思わせないこと。楽しみながら続けることが出来るようにと話しがあり、会はおひ

らきになりました。平成最後の総会、間もなく迎える令和の時代、会員相互健康で末永く活動出来るようにと思いました。

|             |       |
|-------------|-------|
| 二〇一九年度役員紹介  |       |
| 会長          | 佐藤 康夫 |
| 副会長         | 島峯 紀子 |
| 事務局長        | 安達 聡子 |
| 会計          | 小竹 金次 |
| 監事          | 田中 邦夫 |
| 〃           | 西山貴美子 |
| 〃           | 小林 一朋 |
| 〃           | 野中 節子 |
| (社福) 創和会    | 西嶋 公子 |
| NPOアップルサービス | 原 厚平  |
| 地域ケア委員会     | 高綱美智子 |
| 研修委員会       | 遠藤 仙子 |
| 広報委員会       | 大島 恭子 |
| 行事委員会       | 佐藤 康夫 |
| グループ会議      | 永井 まち |
| ホームページ委員会   | 田中 邦夫 |

花みずきのおしゃべり会



3月13日第5回「花みずきのおしゃべり会」が開催されました。ひなまつりは過ぎましたが「ケアセンター特製の甘酒」が振る舞われました。「美味いね。」「おかわりください。」「おかわりして酔っぱらっちゃうわよ。」「大丈夫よ。白酒と違って酔わないわよ。」等などわいわいと盛り上がりました。「美味しい、美味しい」の声に特製甘酒の秘伝のレシピが公開されました。「え〜りんごのすりおろしが隠し味なの。」と声が上がっていました。さてその先の秘伝の味をお知りになりましたか?是非「花みずきのおしゃべり会」にご参加ください。甘酒を頂いたあとにリーダーの掛け声で軽い体操が始まりました。「手を挙げるだけでこんなに気持ちが良いの。」「家ではこんな簡単な体操もしないわよね。」との声も聞かれます。甘酒で体が温まり、言葉遊びで頭が柔らかくなり、体操で体がほぐれて、柔らかな春の日のような時間を過ごしました。



「甘酒」には2種類ありご飯やおかゆなどに米麴を混ぜて保温し、米のデンプンを糖化させたものと、酒粕を使ったものがあります。アルコールをほとんど含まない甘い飲み物です。

一方、「白酒」は、みりんや焼酎などに蒸したもち米や米こうじを仕込み、1ヶ月程度熟成させたもろみを、軽くすりつぶして造った酒のことをいいます。(農林水産省HPより)

つまり見た目は同じ白い飲み物ですが、甘酒はお酒とは名ばかりの甘口の健康的な飲み物ということですね。♪すこし白酒めされたか、赤いお顔の右大臣♪童謡のとおり「白酒」はれつきとしたお酒のようです。

次回6月12日(水)はどんな話題で盛り上がるのでしょうか。楽しみですね。縫製グループの展示・販売があるそうですよ。

(山垣 淑子)



ぶどうの会 ボランティア募集



ボランティアのお仲間を募集しています。

あなたの小さな力がたくさんの笑顔に変わります。



- デイ給茶 (9:15~11:15)
- デイ趣味活動 (13:00~15:00)
- くもん学習療法 (13:00~15:00)
- 特養 (8:00~10:00 その他)

問合せ: 住民の会 729-0617 又は 永尾 (727-0456) まで

ほっとコールってなあに?

会員向けサービスで、お一人暮らしやご高齢者の方へ事務局からお電話をかけ、近況伺いやおしゃべりをしています。

好評です!!

- おしゃべりを担当するのは、話題豊富で明るい事務局員のメンバーです。
- 週一度、10時から16時の間で決まった時間です。20分位です。

「楽しいおしゃべりは、元気の元」住民の会「ほっとコール」をご利用ください。

申し込み・問い合わせは事務局へ

お気軽にどうぞ

TEL: 042-729-0617





お二人の演奏を待ちわびる満席の会場でオープンングベルを担当したのは、川尻紗乃ちゃん(小2)。見守るお客様の笑顔と拍手は、一瞬に和やかな空気で満たしました。

ダンケムジーク 第65回コンサート  
「音楽のぶらり旅」を終えて ♪  
実行委員長 米澤二美



3月31日、桜の開花を心待ちにしなが準備を進めてきたこの日、桜も満開となり、「アートウェイ・デュオ」をお迎えしてのコンサート開催となったのでした。仙台フィルハーモニーのバイオリニストでもあるタタル・ヘンリ氏とピアノスト木下順子ご夫妻のアンサンブル。

スロバキア出身で長身のタタル氏と、桜色のドレスをまとった順子夫人が、オープンングに「アヴェニード」を奏で、いよいよ「音楽のぶらり旅」へ出発です。「ワタシ、ニホンゴ、ダイジョウブデス」との第一声で会場をわかせたヘンリ氏ツアーガイドさながらの楽しい曲目解説をささみながら、ヨーロッパ諸国の音楽をご自身の思いと共に語り奏でました。

特にジプシーの音楽では情感豊かに自由にゆらぎ歌い、中南米の音楽では情熱的なリズムに乗っての熱い演奏で盛り上がり、会場も熱気に包まれて行きました。

見事に寄り添うピアノ伴奏は、ご夫妻ならではの息の合ったアンサンブルの醍醐味を聴かせてくださいました。  
『寅さん』シリーズが大好き、というタタル氏、旅の

フィナーレは「男はつらいよ」。ここで、思わぬサプライズの出会いが待っていました。会場にこの曲の作曲家、山本直純氏の妹さんがいらしていたのです。出演者の喜ぶ様子に、お客様も共に感動を味わい、ヘンリ氏から改めて寅さんの「日本人の心」を教えられました。



昨年秋のケアセンター成瀬まつりのバザー収益の一部をピアノのメンテナン스에充てて頂きましたが、今回のコンサートで、その成果を調律士と共に充分に確かめることができました。

皆様のご協力に感謝し、これからもケアセンター成瀬でこのピアノが生かされていくよう願っています。

今後とも皆さまのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

これからの催し物(予定)

- ・地域交流会「花みずきのおしゃべり会」 ←←  
日時 6/12(水) 13:00~  
場所 シニアカフェ花みずき
- ・ダンケムジーク第66回コンサート ←←  
日時 6/30(日) 14:00~16:00  
場所 ケアセンター成瀬地下デイサービスフロア
- ・資源回収(毎月第4月曜日)  
5/27・6/24・7/22

配布のチラシをご覧ください

会費納入のお願い

会費未納の方は下記の方法で納入をお願いします。

- 1 住民の会事務局窓口  
(月~土 10:00~16:30)
  - 2 郵便振込  
記号: 00120-7-725131  
名義: ケアセンター成瀬住民の会
  - 3 銀行振込  
きらぼし銀行玉川学園支店  
口座: (普)060-0501790  
名義: ケアセンター成瀬住民の会
- ※ ご一報くだされば集金に伺います

ケアセンター成瀬住民の会事務局

住所 町田市成瀬台 3-24-1  
電話・FAX 042-729-0617  
ホームページ: <http://ccn.jk.com>

編集後記

5月1日、年号が「平成」から「令和」に変わりました。30年という月日を精一杯生きて来たという思いで感慨深く我が身を振り返っていましたが、国の象徴としてどう生きて行くかを日々考え実行して来られた天皇のご努力を思うと、戦争を体験した同年代としても心から感謝を申し上げます。気持ち一杯になりました。お互いを思いやる心を大切にしていきたいものです。

(塚本)

